

5 消防団の活動状況

東京消防庁が事務を受け持つ特別区内の消防団は、各消防署の管轄区域単位に設置され、地域の住民が主体となって組織されています。〔関連：第48表〕

消防団は、火災、水災等に出場し消防隊と連携して活動するほか、花火大会や祭礼等の催し物における災害の未然防止のため、予防警戒業務も実施し地域に密着した活動をおこなっております。

また、消防団員としての知識・技術の向上のための教育訓練、更に災害に備えて可搬ポンプ積載車等の機械整備を行っています。

表7 消防団の現況

団	分団	団員(内女性団員)
58団	439団	14,916人(2,135人)

図9 消防団の活動状況（活動回数）

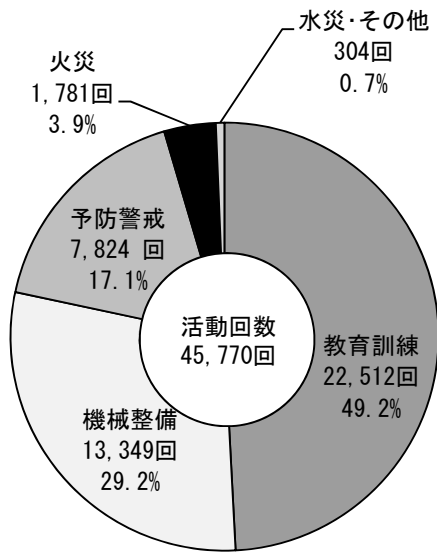
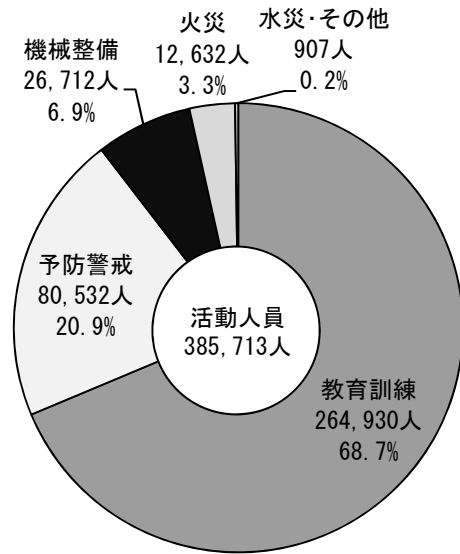


図10 消防団の活動状況（活動人員）



6 救急活動状況

(1) 救急出場状況

救急出場件数は、前年に比べ5.5%減少、搬送人員は6.4%の低下となっております。〔関連：第51, 54表〕

救急隊1隊の一日あたりの平均出場件数は7.8件で、48.4秒に1回の割合で救急出場があり、都民18.8人に1人の割合（管内人口あたり）で救急搬送していることとなります。

表8 救急出場等の状況

	平成20年	前年比
救急出場件数	653,260件	▲38,289件
搬送人員	583,082人	▲39,930件
1日の平均出場件数	1,785件	▲110件

図11 救急出場件数及び搬送人員の推移

